

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※4
北海道	はまどんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	コハチヨウ、 マガモ、オナガガモ	コハチヨウ類 2,000 羽、 マガモ、オナガガモ等 2,000 羽	※主に渡去の中継地 湖面は 90 % 解氷。 (4/12 現在)	北海道
	みやじまぬま 宮島沼 ひばい (美唄市)	マガシ 約 5 ～ 6 万羽 〈秋期 9 月下旬 ～ 10 月 下旬、春期 4 月〉 他にオナガガモ等 コハチヨウ等ハチヨウ類	ハチヨウ類 3,000 羽 マガシ 23,000 羽 ハチヨウ類 630 羽 ヒシイ 140 羽 等	※主に渡去の中継地 わずかに解氷部があるが 渡り鳥の飛来はまだほと んど見られない。 (4/12 現在)	
	ウトナイ湖 とまこまい (苫小牧市)	ハチヨウ類 〈11 月上 ～ 1 月上旬〉、ハチヨウ類 〈10 月 上 ～ 1 月上旬〉 など	ハチヨウ類 170 羽、 オナガガモ等 280 羽	※主に渡去の中継地 ハチヨウ、ハチヨウ類の飛来は少 ない。マガモの渡去は終了。 (4/11 現在)	
青森県	こみなと 小湊 (平内町)	オハチヨウ、オナガガモ、 キンクロハジロ、ユリカモ	オハチヨウ 20 羽 オナガガモ 60 羽	渡去はほぼ終了。 (4/12 現在)	東北
秋田県	おおがた 大潟草原 (大潟村)	マガモ、マガモ等 〈10 月上 ～ 3 月下旬〉 コハチヨウ等ハチヨウ類 ヒシイ、マガシ 〈10 月下 ～ 3 月下旬〉		渡去終了： ハチヨウ類 3/5、 ヒシイ・マガシ 3/3、 マガモ・マガモ 3/15	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガシ 3 万羽 〈10 月下旬 ～ 3 月〉	ハチヨウ類 800 羽	越冬中。(4/13 現在)	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オナガガモ、キンクロハジロ、キン クロハジロ等 オハチヨウ、コハチヨウ 〈10 月中 ～ 4 月中旬〉	ハチヨウ類 50 羽、 オナガガモ 400 羽、 キンクロハジロ 100 羽、 キンクロハジロ 100 羽	現在越冬中で、2/13 か ら渡去開始。 (4/13 現在)	
愛知県	ふじまえひがた 藤前千潟 (名古屋市、飛島村)	マガシ、オナガガモ等 類 〈10 月中 ～ 3 月上 旬〉 ハチヨウ 3000 羽 〈10 月 初旬 ～ 5 月初旬〉	マガシ 5,700 羽 ユリカモ 370 羽 等	全体として例年より早め の渡去がみられる。 (4/6 現在)	

兵庫 県	はまこうしえん 浜甲子園 (西宮市)	鶺鴒類 〈9月中～4月下旬〉 ヰ・ヰ類 〈4月中～5月下旬〉	鶺鴒 180羽 ヰ類 65羽	渡去中。 (4/14現在)	近畿
鳥取 県・ 島根 県	なかうみ 中海 (米子市、境港 市、安来市、松 江市、東出雲町)	鶺鴒 約5万羽 〈10月中～4月末〉	鶺鴒 2,600羽	コハチヨウの渡去は終了。 鶺鴒の渡去は後半。 (4/7現在)	中国・ 四国
島 根 県	しんじこ 宍道湖 (松江市、出雲市、 斐川町)	マガ、コハチヨウ、鶺鴒 約4万羽 〈10月中～4月末〉	鶺鴒 1,000羽	コハチヨウはほぼ渡去終了。 鶺鴒は渡去の後半。 (4/10現在)	
福岡 県	わじろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒトリガモ、マガモ等鶺鴒 〈10月～3月〉 ハシキなどヰ類 〈9月～4月〉	見あたらない。 (4/6はマガモ30だった。)	渡去終了。 (4/13現在)	
宮 崎 県	きりしま 霧島 (都城市、高原 町)	マガモ等鶺鴒 〈10月～4月〉	見あたらない。 (4/6はヒトリガモ10、マガモ 15、オハシ5だった。)	渡去終了。 (4/13現在)	九州
鹿 児 島 県	いずみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マヅル等ヰ類 〈10月～3月〉 ヒトリガモ、マガモ等鶺鴒 〈10月～3月〉	ナベヅル 10羽 ヒトリガモ等鶺鴒 400羽	ナベヅルは全て幼鳥。 マヅルは渡去終了。 鶺鴒も徐々に減少。 (4/13現在)	

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況を取りまとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。